

令和5年度第1回鎌倉市スマートシティ官民研究会全体会

7/27(木)14:00~15:40 (予定) @鎌倉商工会議所301会議室 (オンサイト+オンライン同時配信)

- 開会あいさつ
- 令和5年度事業計画について
- ユースケース創出に向けた各取組について

 - 1 事業化分科会 (データ連携基盤) について
 - 2 市民参加型共創プラットフォームについて**
 - 3 民間主導の各府省庁等補助事業の積極的活用について
 - ・事例紹介/湘南鎌倉総合病院様
 - ・事業紹介/神奈川県産業労働局産業部産業振興課様
 - 4 スマートシティモデル事業について
 - ・事例紹介/富士フィルムシステムサービス株式会社様
 - 5 勉強会・ワークショップについて
 - ・話題提供/鎌倉市スマートシティ推進参与
- その他

2 市民参加型共創プラットフォーム①

目的 情報公開し、政策形成過程に市民が参画する新たな仕組みをつくる

既存の取組

市民対話・ワークショップなど

《メリット》

- ・議論に臨場感があり、活発に進む
- ・議論の密度が濃い

《デメリット》

- ・時間、場所、参加者層に制約や偏りがある
- ・主張の強弱が出やすい

新たな取組

オンラインプラットフォーム

《メリット》

- ・時間、場所、参加者層の制約がない
- ・議論がオープンである
- ・テキスト主張の強弱が出にくい

《デメリット》

- ・議論の密度は市民対話には劣る
- ・議論の展開にやや時間を要する

補完

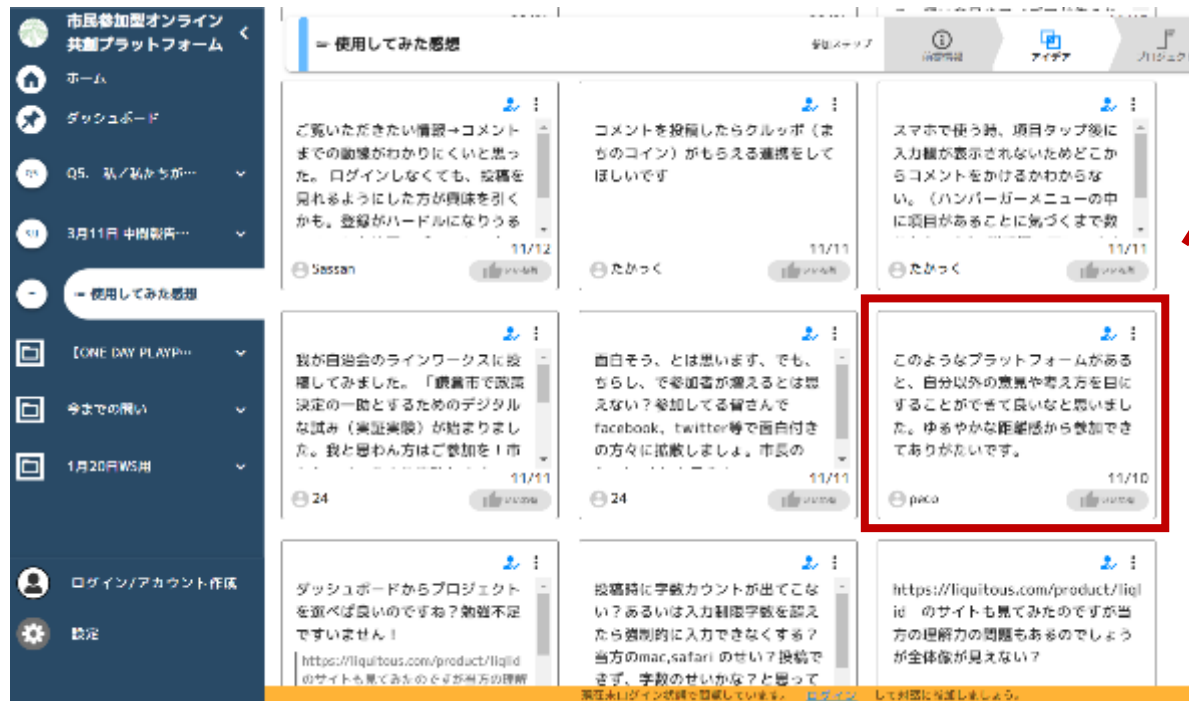


拡充

市民参加型共創プラットフォーム＝政策形成過程に幅広い市民の参画を可能とする仕組み

2 市民参加型共創プラットフォーム②

オンラインプラットフォームって？



このようなプラットフォームがあると、自分以外の意見や考え方を目にすることができて良いなと思いました。ゆるやかな距離感から参加できてありがたいです。

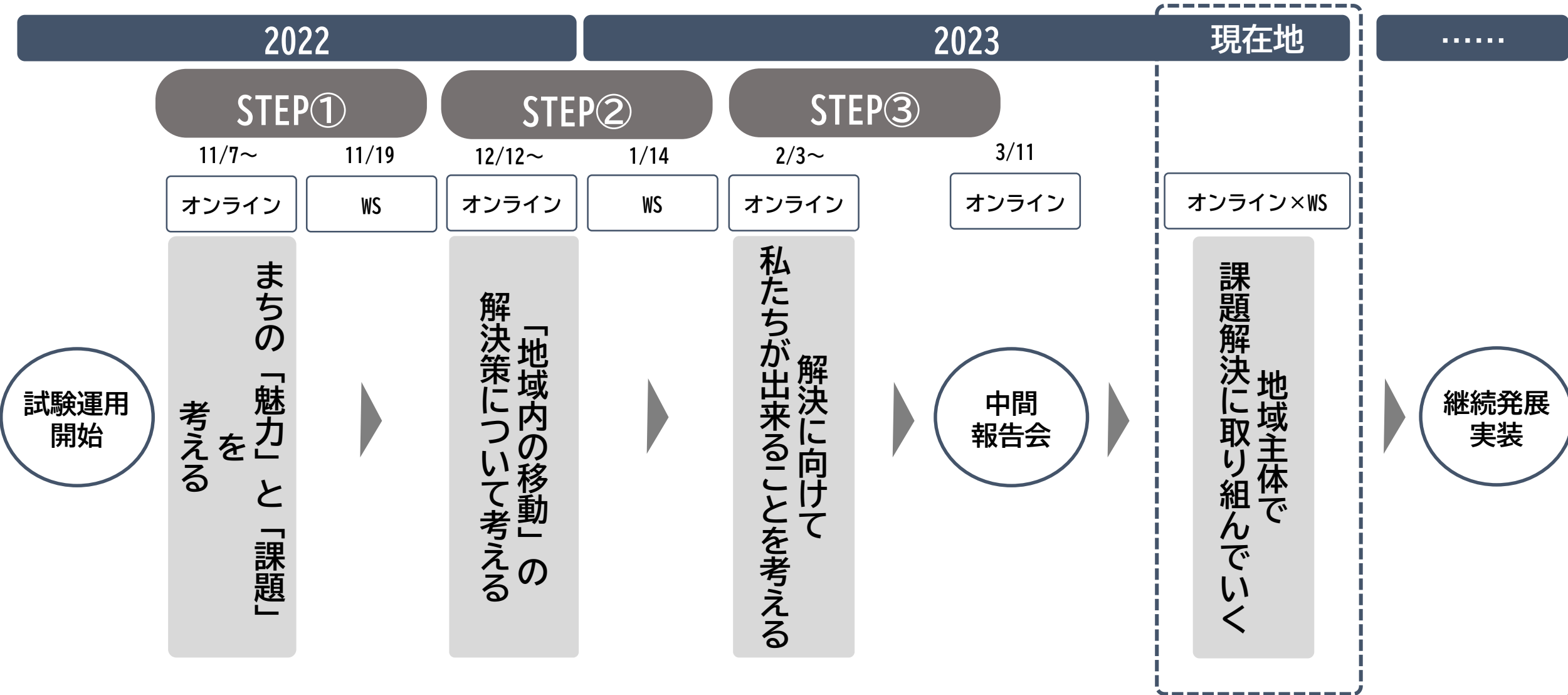
11/10

peco

いいね有

2 市民参加型共創プラットフォーム③

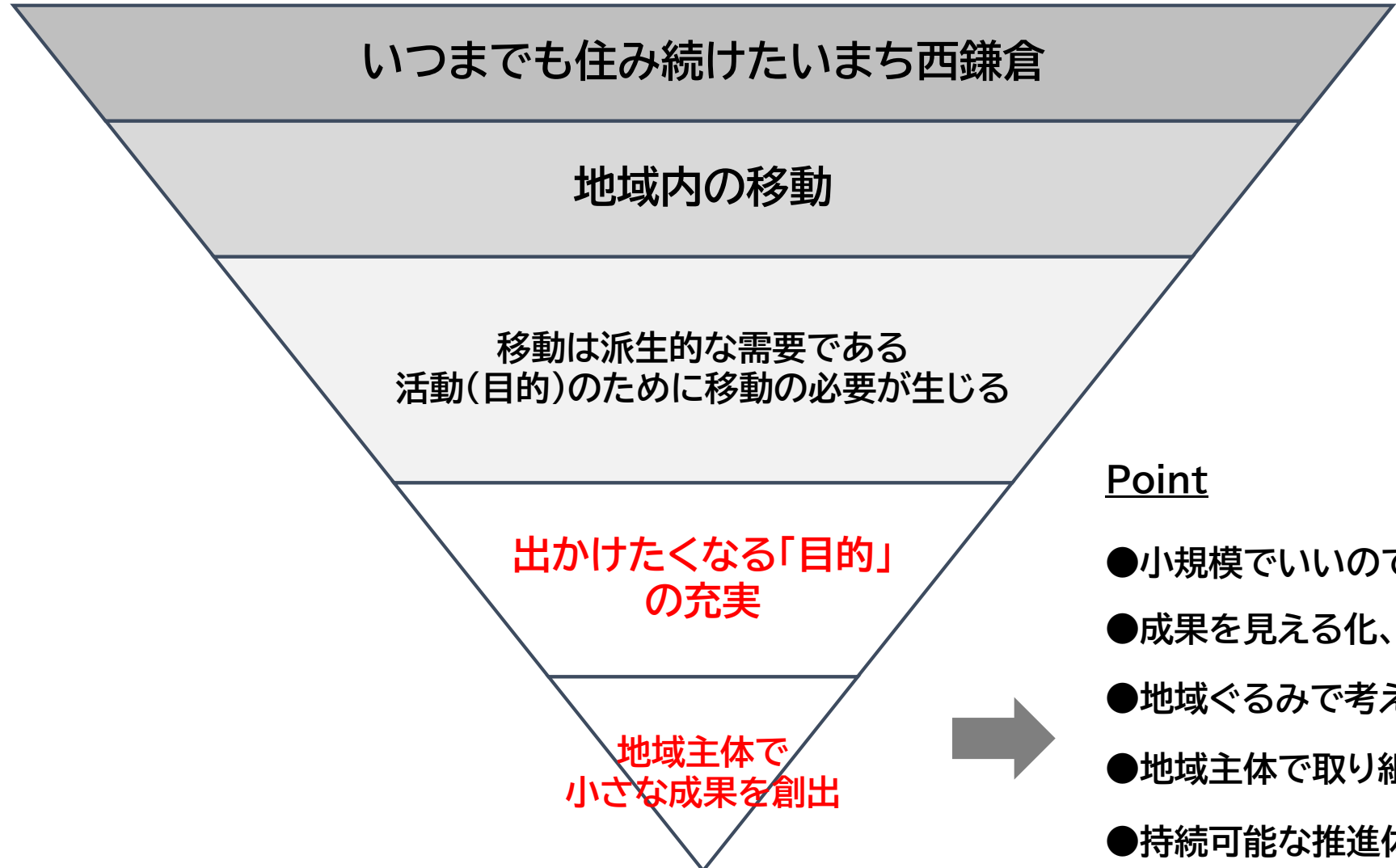
○ 令和4年（2022年）11月から開始した「西鎌倉地域」での取組について



2 市民参加型共創プラットフォーム④

○ これまでの取組で明らかになってきた目指す方向性

STEP1	目標
STEP2	課題
STEP3	方法
STEP4・5	手段



Point

- 小規模でいいので成果を出す
- 成果を見える化、共有する
- 地域ぐるみで考える
- 地域主体で取り組む
- 持続可能な推進体制(官×学)

2 市民参加型共創プラットフォーム⑤

○ 出かけたくなる「目的」の充実に向けたアイデア

項目	準備期間	課題	必要な資源
①マップ等による 周辺情報の整理	数か月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マップ等に掲載した情報を定期的に更新する必要がある ✓ GoogleMap等の既存コンテンツに掲載がない、特異性のある情報を掲載する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マップサービス ✓ 整理した周辺情報
②地域の情報ポータル	数か月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存SNSに掲載がない、地域密着のコア情報を掲載する必要がある ✓ 地域単位での運用では、情報量の点で持続可能性が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報ポータルサイト ✓ 地域密着の掲載情報
③集まれる公共スペース	数か月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新たな公共空間の運営・管理方法等を検討する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 集まれる公共空間 ✓ 公共空間の運営・管理者
④子どもが遊べる場所の創出	数か月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「にしかまくら子どもの家」や「西鎌みんなの家」で同様の取組を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 遊べる場所 ✓ 遊ぶための道具 ✓ 遊びを教える人員 ✓ 安全面等の管理者
⑤イベント等による まちの賑わいの創出	数か月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 単発的な開催ではなく、継続的な開催を見据えた検討の必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ イベント会場 ✓ イベント運営スタッフ
⑥駅などのバリアフリー対策	数年	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域での取組ではなく、鉄道事業者による対応である 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 改修費用
⑦夜間の居場所	数年	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 夜間に場所の運営・管理を行う人員の確保が困難である 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 場所や人員の確保
⑧歩いて楽しい歩道の創出	数年～5年	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 道路などのハード面での対応には期間を要する 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 工事費用
⑨商業エリアの創出	5年～10年	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域で取り組むにはハードルが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 商業事業者 ✓ 商業用地
⑩観光客の皆さんとの共存	—	—	—

2 市民参加型共創プラットフォーム⑥

